

令和6年度小松市立那谷小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導 (安井)	<明るいあいさつをし、よりよい関係を築く>		
	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの『「いつでも・どこでも」気持ちのよいあいさつができていますか。』という問いに対して肯定的な回答の児童が90%以上を目指し、また教員に対してもアンケートを実施し児童との意識の差を把握する。そのために企画委員会を中心によりよいあいさつを目指す取り組みを行い、あいさつに対する意識の向上を図る。 児童アンケートの「学校は楽しいですか」という質問に対して楽しいと答える児童が95%以上を目指す。そのために生徒指導の4つに視点を意識した授業づくりを推進し、児童が達成感を感じ楽しいと思える授業作りを進めていく。また委員会等で児童の主体性を生かした活動を行い、みんなが楽しいと思える学校づくりを行っていく。 		
(吉田・湖城) 特別支援教育	<UDLに基づき、組織的に取り組む>		
	<ul style="list-style-type: none"> どの子にも分かるめあてを工夫し、自分で取り組めるようにする。 児童一人ひとりの実態を把握し、個に必要な支援を行う。 		
読書教育 (道上)	<発達段階に応じた児童の読書の量を高める>		
	<ul style="list-style-type: none"> 「おすすめの本」を活用し、読書量を上げる。1年生から4年生までは学期に15冊、5年生6年生は学期に5冊読む。 各教科等の学習に活用できるように、市立図書館とも連携を図り学習環境を整える。 		
保健教育 (坂本)	<自分の身体や健康に関心を持ち、生活改善を図る>		
	<ul style="list-style-type: none"> 2週間に1回生活習慣チェックを行い、歯みがき（児童）の項目の達成率を80%以上にする。 1学期に、歯と口の健康教育を全学年に行う。2学期には、講師を招いて、学校保健委員会を行い、児童に歯みがき習慣を身につけさせる。 		
ICT活用 (安井) 推進	<ICTを活用した授業を推進する>		
	<ul style="list-style-type: none"> ICT指標に基づいて学年に応じた技能を身に付けさせる。 4年生以上はローマ字入力習熟を図り、タイピング練習で1分間に4年生は50字、5年生は70字、6年生は90字以上打つことを目指す。 タブレット活用方法について、市のサポートを効果的に活用するなどし校内研修を進め、教員のICT活用指導力を高める。 		
家庭・宮・山前との連携 (嘉)	<効果的な学習活動になるよう地域や家庭と連携する>		
	<ul style="list-style-type: none"> 地域に関心を持ち「町のせんせい」を積極的かつ計画的に学習活動に取り入れる。 学んだことは、地域や家庭に発信する。また、教育活動についても発信し、発信方法も工夫していく。 		
環境整備 (山前)	<児童・職員が働きやすい環境づくりに努める>		
	<ul style="list-style-type: none"> 物品の整理整頓に努め、活動しやすい環境を保つ。 自己存在感が得られるような教室環境に努める。 		

学校関係者評価	
---------	--